

2016年 7月22日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.9 2



6月市議会の代表質問 住民の暮らし最優先の市政に

6月市議会は6月10日から22日までの13日間開かれました。昨年12月議会から、代表質問制となり、今回は桜井議員と廣田議員が担当しました。主な内容をお知らせします。また請願では、県保問協が提出した「保育士不足を解消するため、処遇を大幅に改善することを求める意見書」が賛成多数で採択されました。

できることが望ましい。制度の見直しと予算措置に努めていきたい。入学準備金は他団体による制度が充実しているものと分析している。

●地域防災対策について
【質問】 今回の熊本地震を受けて、大災害でも住民の命と健康を最大限に守る観点から何が必要か、学ぶべき点は。
【答弁】 公共施設の耐震化にとどまらず、個人の住宅における耐震化（助成金の増額は考えていない）や家具転倒防止の取り付けの啓発活動を関係機関と協力して行い、防災訓練・講演会・イベントなどで推進していく。

●高齢者福祉について
【質問】 「総合事業」の進捗状況、高齢者サポートセンターの取り組み状況、特養ホームの整備、高齢者世帯対策について伺いました。とくに、ひとり暮らしの高齢者は県内トップで1万6千人いる本市では、その実態調査がどうなっているのか。
【答弁】 高齢者世帯対策について、各種警報機、

●保育について
【質問】 待機児童解消に向けて、市の「緊急対応プラン」を積極的に推進していくための政策について。
【答弁】 保育士確保のためのパンフの発行（まだ問合せはないが、今後につなげたい）、潜在保育士支援事業では3名が実習し、終了後、市内の保

育園に勤務する予定。保育士の処遇については、国の施策をふまえて検討する。
●教育費の負担軽減について
【質問】 本市では返済のいらぬ給付型の奨学金制度があるが、近年50人ほど予算の確保ができずに受けられない人がでてくる。予算の確保が必要である。

また、入学準備金貸付制度では年々申請、実績が減少しているのはなぜか。
【答弁】 応募資格を満たす学生数に支給

高齡者世帯対策について、各種警報機、あんしん電話の設置、見守り活動、配食サービスの提供などを実施しているが、ひとり暮らし高齢者の実態把握は難しい。訪問希望者は3月末で1723人。「地域支えあい」「身近な相談」「住民活動の積極的支援」の3つの基本的な骨格として地域ケアシステムの仕組みを実施していく。



えっ! 公営競技の場外販売場を開設か JR本八幡駅南口駅前に

6月議会で高坂議員が「開設の動きと市の考え」について質問しました。民間業者が計画しているのは、JR本八幡駅南口駅前にある既存のビルに公営競技の場外販売場を作るというものです。どの競技（競輪、オートレース、モーターボート）にするかは決まっていないということでした。昨年12月から地元自治会への説明会をしており、業者が市に初めて接触してきたのが6月6日。市としては「業者から具体的な説明がなく、地元住民の総意が重要と考えている。また、『住宅都市』『文教都市』といった本市の培ってきたイメージを保つことができるかどうかなど、さまざまな観点から検討していく」と答弁しました。住民への説明会も開かれます。しっかりと治安の面からも検討してもらいたと思います。

ご褒ありがとごうございました

共産党は議席倍増 浅野候補が35万票



7月1日、小池晃書記局長が応援に駆け付けました
安保法制に反対するママの会の方も応援弁士に



椎葉かずゆき比例候補は3県を駆け巡りました

6月22日公示、7月10日投開票された参議院選挙では、千葉選挙区の浅野ふみ子候補、比例代表の椎葉かずゆき候補、また日本共産党へのご支援ご協力ありがとうございました。

日本共産党は改選3議席から6議席へと躍進し、野党共闘でたたかった32の1人区で11の選挙区で勝利することができました。また、福島県、沖縄県では現職大臣を落とすことができました。それだけ国民との矛盾が深まっているといえます。

今後のたたかいが重要です。戦争法廃止、憲法改正阻止、TPP・原発・基地問題など、野党共闘をさらに発展させ、市民の皆さんとの共同を大切に奮闘していきます。

▼ぜひ見に来て下さい▲ 第8回市民ミュージカル 「夏の光2016」

子どもと大人たち150人の市民でつくるミュージカル。今年で8回目。国府台にある赤レンガ建築物の保存と再生を願うミュージカルです。毎回、感動があります。

9月4日(土)
11時〜15時
会場は、市川市文化会館大ホール
入場料は、2500円〜1000円(文化会館、行徳文化ホールでも販売しています)
お問い合わせは、市民ミュージカル実行委員会まで
070・5517・8315

無料法律相談

- ◎ 8月 4日(木)
担当 中丸素明弁護士
- ◎ 9月 7日(水)
担当 藤野善夫弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分
予約は清水または控え室。

《主な活動報告 6月》

☆6月12日 戦争法廃止へ市民集会

昨年につづいて、2度目となる「戦争法廃止をめざす市民集会」が開かれ、700人の市民が参加しました。「市民集会」の成



功へ、「総がかり行動実行委員会」がつくられ、「九条の会」「戦争をさせない1000人委員会」「県議・市議有志の会」と3団体の呼びかけで、50団体以上、900人以上の賛同を得て、集会も成功しました。市川駅南公園での集会のあと、市川駅と本八幡駅と2コースに分かれて、デモ行進。ラップ調のコールに合わせ



て「戦争法廃止」をアピールしました。また、駅頭でのアピールも次々とマイクを握り、私も訴えました。「安倍政権の暴走を止めるために、参議院選挙をおおいに盛り上げましょう。18歳選挙権を行使するはじめての選挙で、若者にも、日本が戦争する国になったらどうなるのか、アピールしましょう」。

☆6月18日 市保育問題協議会の総会

市議団を代表して、市保問協の総会であいさつしました。県保問協の会長も来賓あいさつ。保育をめぐる情勢について、保育園、保護者それぞれの立場から参加した皆さんも報告しました。